

## IV 児童生徒の変容

### (資料12) A子へのメッセージ

#### 1 順応児童生徒の変容

前述した順応児童生徒A子、B男、C男、D男の4名を抽出して、振り返り用紙と学級生活のアンケートの事前、事後調査結果を比較して、その変容を見てみることにした。

##### (1) 振り返り用紙から

###### ① A子 (小学校3年生)

A子は、5回の演習を行っていくうちに、振り返り用紙での自己評価が「あまり」「まあまあ」の段階から、徐々に高くなって5回目にはすべての項目で「とても」変わっていった。

また、自由記述では、第1回の演習において「今まで知らなかった〇〇さんの家族について、はじめて知った」と友達への関心が広がってきたことがうかがえた。さらに、第2回の演習では、(資料11)のように「△△さんが私のいいところを三つも書いてくれた」や(資料12)のようなメッセージをもらい、「男子も私のいいところをいっぱい書いてくれた」と学級の友達から認められてうれしかった気持ちを書いていた。

##### (資料11) 第2回の振り返り用紙

1. あなたは、友達からの「メッセージ」がうれしかったですか。

とても (まあまあ) あまり ぜんぜん  
(うれしかった) \_\_\_\_\_ (うれしくなかった)

2. あなたは、自分のよいところをどのくらいききましたか。

たくさん (まあまあ) あまり ぜんぜん  
(きづいた) \_\_\_\_\_ (きづかなかった)

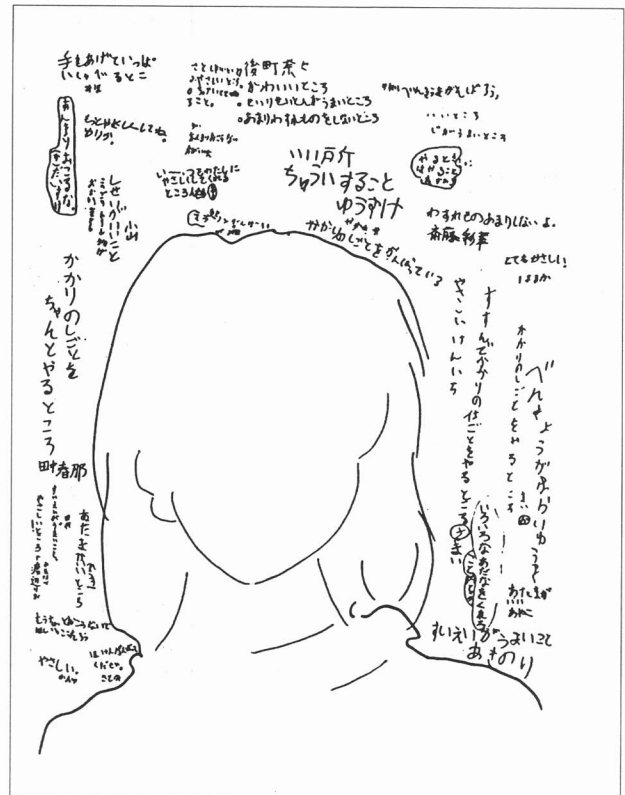
3. このゲームの中で、とくにいんしょうにのこった友達の名前と、そのりゆうを書いてください。(何人書いてもかまいません。)

<友達の名前> { F子 ちゃん }

<りゆう>  
いいメッセージで、はじに絵をかいてあったから。

<友達の名前> { K子 さん }

<りゆう>  
いいことを3つ書いてくれた。



友達のよさについては、第3回の演習で「□□君は動きが速く楽しかった」、第5回の演習で「▽▽さんは自分がやりたいことをみんなに自信を持って話していた」とか、「みんな自分のことを発表していた」と、友達から刺激を受けた気持ちを書いていた。



###### ② B男 (小学校5年生)

B男は、5回の演習を行っていくうちに、振り返り用紙での自己評価が、(資料13)のように「あまり」と「まあまあ」が半々の状態から、徐々に「まあまあ」が増えて、最後にはすべての項目が「とても」に変わり、積極的な取り組みが見られるようになった。